



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo
 Mail : syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

主 題

- 国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Finn A Pederseon "To dare is to do"
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"
 西日本区理事 「YIS'の原点 愛と奉仕で社会に貢献」
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community
 through Active Service with Love"
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」
 森 紘一
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

- 会 長 都筑省三
 直前会長 桑野友子
 副 会 長 堤 清 島田 恒
 書 記 堀江哲次 柏原佳子
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 上野恭男 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

11

Nov. 2011
 第 174 号

今月の聖句

何事にも時があり 天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

コヘレトの言葉 3:1

11月第1例会プログラム

- と き: 2011年11月16日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ブルーミン・メドー
 司 会: 渡辺倫子ウイメン
 受 付: 羽太英樹メン・島田 恒メン
1. 開会点鐘 都筑省三会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖句朗読 羽太英樹メン
 4. ゲスト・ビジター紹介 渡辺倫子ウイメン
 5. 食前感謝 堀江哲次メン
 6. 食事・歓談 一同
 7. ゲスト・スピーチ 中野雅弘メン(クラブメンバー)
 「人にやさしい町づくりー景観などー」
 8. ゲスト・ビジターご挨拶
 9. 議事報告
 第2例会議事録承認 都筑省三会長
 研修会報告 都筑省三会長
 各事業委員報告
 10. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
 11. 誕生祝い 都筑省三会長
 12. ニコニコ献金報告 福原吉孝ファンド委員
 13. 閉会点鐘 都筑省三会長

広報活動(Public Relations Wellness)

堀江 哲次
 広報活動は次に述べる "I"の力を考え、働かせることが大切と西日本区の広報マニュアルに書かれていました。これを紹介させていただき、今後の活動の参考にしたいと思います。
 "I"の力の重要性とは「私は私のイマジネーション (Imagination) を働かせて、もっとたくさんのアイデア (Idea) をだし、クラブの存在を輝かせ (Illuminate)、クラブのイメージ (Image) を向上 (Improve) します。このことは私たちの未来に大きな影響 (Impact) をあたえるでしょう。」と説明されました。
 芦屋クラブはクラブのリーフレットを新たに作成・配布、みどり作業所のサポート、神戸YMCAとの共同活動(チャリティー・ラン、YYフォーラム、留学生交流会)などの活動を続けています。これらの活動に"I"の力とさらに"愛"の力もあわせて働かせれば、よりよい活動が出来るものと思われれます。私はプリテンの編集を担当させていただき、タイミングの良い記事と発行 各例会などの記録性を大事にする 読み物として面白さを保つこと を中心に心がけています。今後とも皆さまからのご支援をいただき "I"の力も加えて、芦屋クラブのいろんな活動を紹介し、いろんな方に興味をもっていただけるように努力したいと思います。今後ともよろしく願い申し上げます。

10月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	12名	出席者	12名	0gm (28gm)
ビジター	1名	メイキャップ	3名	
ゲスト	7名	合 計	15名	
メネット	名	在籍者	17名	
合 計	20名	(内広義会員1名)		
		出席率	93.8%	ニコニコ (累計) 23,205 円 (81,876 円)

10月第1例会報告

島田 恒

日 時： 10月19日(水) 19時～21時

場 所： ホテル竹園芦屋

司 会： 島田 恒 (敬称略)

出席者： 飯田、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、羽太、福原、堀江、渡辺メン、藤田連絡主事(芦屋クラブ)、五十嵐政二(神戸クラブ)、佐治文隆ゲスト・スピーカー(市民病院事業管理者)、佐藤徳治(市民病院事務局長)、前村光俊(市役所)、石井靖男(島田メン友人)、青木央(書道家)、藤川晃成(医師)、高井和代(柏原ウイメン友人)

今月のゲストスピーカーは、都筑会長からの依頼を引き受けてくださった佐治文隆様であった。佐治氏は、芦屋市民病院事業管理者として多忙な日々を過ごしておられる方である。



財務的な大幅赤字が続き、必ずしも市民の全面的評価

があるとはいえない市民病院の経営について、芦屋市が発展的存続を決定し、そのための要として事業管理者に就任されたのが佐治氏である。

この講演では、佐治氏はきわめて丁寧に市民病院の現状とこれからのビジョンを説明された。信頼できる医師を十分に確保し、医療水準の向上と患者への温かで行き届いたサービスを整え、市民の信頼を構築していく意思と具体的展開を示された。特に来年6月完成予定の新病院の内容を、図面を含めて詳細に示され、新しい出発ともなる市民病院への期待を感じさせる説明であった。

新病院では、最新の医療機器が設置され、多くの診療科に信頼をもって対応できる医療従事者を配置するとされた。さらに、新しく緩和ケア病棟(ターミナルな状況にある患者に対する痛み緩和や人間的配慮を意識したケアが行われる病棟)が設置されることは、従来の市民病院から飛躍的に機能拡大を志す試みであることが感じられた。

また、出席者との質疑応答では、市外からの患者も芦屋市民とほとんど差別なく扱われるという説明があり、市外に住むクラブメンバーもホッとした様子であった。市内のサテライト設置については、市内開業医がサテライトに相当し、連携して芦屋市中核病院として市民に安心を提供していく姿勢であることが付け加えられた。

例会では、いつもの通り、第二例会決定事項、行事案内、YMCA ニュースなどが報告された。この日はゲストスピーカーの関係者の他、多くのゲストが参加してくださった。病院や市役所関係の佐藤様、青木様、前村様、神戸クラブの五十嵐様、前月メインゲストの高井様、紹介により参加くださった石井様、藤川様であった。充実した例会であった。

第10回六甲部会

堀江哲次

10月8日(土)神戸YMCAチャペルにおいて、第10回六甲部会が120名余りの出席者を集めて開催されました。



第1部では開会挨拶(森紘一六甲部長)、ワイズソング斉唱、開会礼拝:メッセージ(西神美賀多教会 丹羽和子牧師)～新しいものと古いもの～、来賓挨拶(浅岡徹夫西日本区理事、武田寿子神戸YMCA会長、水野雄二神戸YMCA総主事)、アピールなど

が次々と滞りなく、行われました。

礼拝メッセージではルカによる福音書5章33-39節を引用され、古いものの心地よさに惑わされず、新しいものをうまく取り入れることが必要とお話が印象的でありました。またアピールタイムではびわこ部より来年6月9日(土)に開催の第15回西日本区大会(滋賀県長浜)の紹介がありました。

第2部は講演会であり、山内敏弘一橋大学名誉教授により、テーマを～日本国憲法といのちの権利～とした講演が行われました。戦前、戦後の憲法の歴史を振り返って、憲法



における生命権の位置づけ(法が国民の生命の保護を第一義的な目的で整備されているか)は重要で、人間の尊厳性の確保するため 生命の自己決定権 生命・生存の保護請求権の2つがあることを説明されました。さらに今回の福島原発事故をめぐる問題 原発の扱い(便益かいのちか)に対しても言及されました。講演の内容は高度で、説明されたことが私には十分理解できませんでしたが、私たちのいのちと平和を守る基本となっている日本国憲法を大切なものとして感じていなかったことを反省させられるとともに、今回の大震災・福島原発事故の重大さをあらためて考えさせられる講演でした。

第3部は場所をANAクラウンプラザホテルに変えて懇親会が行われました。デクシーランド・ジャズが演奏され、音楽・アル



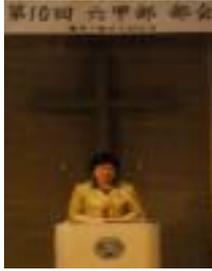
コール・バイキング方式の食事・

おしゃべりなどをリラックスした雰囲気を楽しみました。芦屋クラブからは、都筑会長以下、飯田・田舎・上野・柏原・桑野・堀江各メンが参加しました。

六甲部メネット例会

飯田 ふみ子

例年通り六甲部会の前にメネット例会が開催されました。私は受付とお祈りの役をいただき、とても緊張しました。いつも柏原さんに頼りきりですが参加できたことに感謝いたしています。個人的な都合で終日参加できませんでしたがとても意義ある、又楽しい交わりの時を持つことができました。参加のたびに他クラブのメネットさんとも親しくなりザックバランにお付き合いただける人が増えてきました。



今回は「東日本震災派遣ボランティア」の支援に芦屋クラブが積極的に応援していただきうれしかったです。又ボランティア学生の話は感動を覚えると同時に若き日の良き体験を今後の歩みに生かしていただきたく思いました。

チャリティゴルフ大会に参加しました

上野恭男

第25回神戸YMCAチャリティゴルフ大会が10月19日(水)にオリムピックゴルフ倶楽部にて開催されました。

芦屋クラブからは、入賞歴のある福原メン、島田メンをはじめ、加輪上メン、柏原ウイメン、そして上野が参加しました。

YMCAのチャリティゴルフはいつも雨が降ると言われていますが、今回はうす曇り、気温25度と素晴らしい天候でした。

スタート前のパッティンググリーンで入念に練習をして、OUTスタートへ向かいます。

今回は54名の参加者が、広々とした素晴らしいオリムピックゴルフコースにチャレンジしました。

お昼の食事タイムはお互いのスコアチェックの場でもありますが、午後は頑張るぞ、と顔を見合わせるばかりでしたので、スコアは推して知るべしでありました。

3時過ぎにラウンドを終えて最終組を待ちました。やがて成績が発表されました。ダブルペリア方式のプレーでしたが、芦屋組は飛び賞を含めて入賞者なし。しかし、救いがありました。

武田理事長が挨拶に立ち、理事長の前の組だった柏原佳子ウイメンのスウィングを華麗なフォームとほめてくださったのです。待ち時間があつたショートホールで柏原佳子ウイメンが1オンしたのを見ておられたのでした。ゴルフを始めて2年ほどの柏原佳子ウイメンにとって、大きな励ましになりました。

この日は第1例会の当日で、7時からの例会に間に合わせるために早めに失礼して帰りました。

来年は頑張るぞと心に誓ったものの、まずはチャリティゴルフの成功を喜びました。そのご、収益金から諸経費を除いた約220,000円を全額、東日本大震災の復興支援として捧げると報告がありました。

また、次回の第26回チャリティゴルフ大会は、2012年5月に「千刈カンツリークラブ」にて開催すること、さらに多くの芦屋クラブ会員の参加を期待します。

ジャガイモファンドのドタバタ奮戦記

福原 吉孝

さて、毎年秋になるとジャガイモファンドの季節となる。昨年は大変な不作との事で、やむを得ず受注制限をしたが、今年は正常な出来高との朗報で、芦屋クラブも例年の受注数を確保すべく受付を開始した。ただ今回は飯田ファンド委員長の元、今年から芦屋クラブとしての取り組みを少し変える方向で検討を行った。結論として芦屋クラブのジャガイモファンドに「インカのめざめ」を加える事となった。このジャガイモは、上野メンの親しいお知り合いが窓口として対応して頂き郵送などの便宜を図って頂けるとのことである。色々検討の上「インカのめざめ」を芦屋クラブの新しいファンドとして立ち上げることを決定した。今回から、十勝ジャガイモ10kgと「インカのめざめ」5kgの二本立てのファンドを実行する事になった。まず、十勝のジャガイモであるが、毎年、美味しいジャガイモを期待して待ってられるお客様も多く、ほぼ例年通りの目標数をクリアした。受注確認から西宮クラブへの連絡等については、桑野ウイメンのお世話を頂いた事を報告しておきたい。受注の集計、集金、送付先一覧表の作成、西宮クラブに到着したジャガイモの搬出、配送等々、多大なるご尽力を頂き大変感謝したい。また、配送分については、飯田ご夫妻によりジャガイモを各家庭に自家用車でお届け頂き、つつがなく無事終了した事も感謝したい。1個が10kgであり大変重い商品であり、大変な作業であったと思われる。特に飯田メネット、ご協力有難うございました。

さて、小生の食した感想であるが、十勝のジャガイモは新鮮で美味しく、蒸かしジャガイモに塩をつけソーセージとビールで夕食を楽しんだが、ほくほくと美味しく、十分満足できた。その他サラダ、肉じゃが等のジャガイモ料理で堪能した。ご近所の奥様方に御裾分けしたが大変美味しかったと好評であった事を報告しておきたい。

さて、今後、大変有望なファンドに育成したい「インカのめざめ」であるが、前回、小生も注文して食した経験がある。小さなかわいい黄色のジャガイモで、栗の様に味の濃い美味しいジャガイモの印象であった。今後の育成次第では、「インカのめざめ」は大変有力なファンドになる可能性がある。現地から各家庭に郵送が可能であり大変活用しやすいファンドでもある。これからの育成策、PRの方法、ご意見があれば連絡してほしい。最後にジャガイモファンドとして貢献できるファンド育成の為に皆様の絶大なるご支援を期待したい。

新芦屋みどり福祉第2作業所 平成24年4月オープンのお知らせ

鉄骨4階建て
多機能型
複合施設
敷地面積126
坪

4F 短期入所	6名
3F ケアホーム	9名
2F 就労支援	20名
1F 自立訓練	10名



11月第1例会スピーカー紹介

中野 雅弘メン

京都大学工学部大学院工学研究科(修士)卒
日本電信電話公社(現 NTT)入社
財)土木研究センター技術部長、NTT 地域開発
担当部長、関西 ITS 推進協議会事務局長を歴任。
2001年4月 大阪産業大学工学部 教授就任
2003年4月~9月 英国レディング大学客員教授



10月第2例会・議事録(抄)

堀江哲次

日時:10月28日(水) 19:00~21:00

場所:芦屋市民センター206号室

出席者:飯田、井上、上野、柏原、桑野、都筑、羽太、
藤田、堀江、(9名)

<報告・協議・確認事項>

1)第1例会プログラム

11月16日(水) ブルーミン・メド: メンバースピーチ

2)10月以降の予定(クラブ例会以外)

11月3日(木・祝日) チャリティ・ラン 神戸しあわせの村

11月16日(水) クラブ研修会

12月9日(金) チャリティ・ワイン

3)9月度会計報告

羽太会計より報告あり、承認。

4)芦屋クラブファンド

十勝ジャガイモファンドは96箱の売り上げ。収益5万円弱。

5)次期会長、次期六甲部長方針

都筑会長より次期会長を島田メンが了解してくれたことを報告。

飯田次期部長より六甲部会は2012年9月8日(土)開催。部役員(飯田部長、柏原書記、桑野会計、上野事務局長)

6)クリスマス準備委員会発足

都筑会長(委員長) 井上メン(事務局) 上野・柏原・
桑野・羽太・福原各メン

藤田良祐YMCA連絡主事

東日本大震災復興支援報告

支援活動を継続。余島で被災家族招待キャンプ(11/5~6、11/26~27)実施。

公益財団法人への移行について

神戸、東京、大阪に続き10月3日に京都YMCAが移行。熊本、横浜が申請中、来年4月には移行の見込み。

学校教育事業、後期入学式、挙行

日本語学科の秋入学式 30名ほどの新入生。高等学院秋入学式、12名の新入生。

冬キャンプ募集開始

スキーキャンプやデイキャンプなど様々なプログラムが計画。

今後の予定

第24回チャリティーワインを味わおうの会

日時:12月9日(金)午後6:30~8:30

場所:神戸YMCA 4F サイコー亭

会費:6,000円

第53回神戸市民クリスマス

日時:12月16日(金)午後5:00~ キャロリング

場所:日本キリスト教団神戸教会

125周年記念音楽イベント

「音楽と祈り ~あなたとともに~」

日時:2012年1月7日(土)午後2:00~3:30

場所:東灘区民センター うはらホール

ユースプラザ KOBE EAST の今後の予定

第29回フリーマーケット

日時:11月19日(土)午前11:00~午後4:00

場所:ユースプラザ KOBE EAST

第36回ミニコンサート

日時:11月26日(土)午後3:00~3:30

場所:ユースプラザ KOBE EAST

出演:神戸大学附属中等教育学校コーラス部

編集後記:

チャリティ・ゴルフ、ジャガイモファンド、チャリティ・ランに参加や献金を頂いた皆様に感謝です。10月例会には、佐治文隆様の芦屋病院の現状とビジョンについての貴重なお話を拝聴、「けっこういいぞ芦屋病院」とわかって良かったです。また前回のゲストスピーカーの高井和代様をはじめ、多数のゲストの参加をいただき、盛会でありました。

堀江哲次